

少人数学級実現を 教育長に要請

子どもの実態 参加者から次々と



2020年9月13日
IV-18
◇発行◇
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子
＜連絡先＞
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241 (受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

水害対策で県知事に要望 （日本共産党山形県委員会、県議団）

7月豪雨災害対応
8月20日、日本共産党山形県委員会と党県議団は、「7月豪雨に関する要望書」を吉村美栄子知事あてに提出しました。内容は、被災者支援、河川管理、内水対策、土砂災害対策、中小企



吉村知事宛の要望書を提出する県議団

業・農林水産業への支援など6分野22項目に及びます。要望内容は、県内党議員の調査や寄せられた要望をまとめたもので、○臨時国会の招集と被災者生活再建支援法の適用と拡充を国に求める。○河川管理では計画を上回る洪水を想定し

た対策。○最上川から支流に逆流するバックウォーターへの対策。○浚渫工事の実施や支障木の撤去などです。前内永敏県土整備課長が要望書を受け取り対応しました。

※7月豪雨は、最上川沿いの住宅や農地、事業所に多数の被害をもたらしました。が、気候変動もあり今後の不安の声が寄せられました。今後も調査、検討、必要な提案、要望をしていきます。

医療・介護事業者のPCR検査

8月19日に厚生環境常任委員会の閉会中審査が行われ、PCR検査体制の拡充について取り上げました。県は、PCR検査体制について従来の一日200件程度から1000件程度に引き上げることをめざすと

の感染が広がった4月頃は、医療機関や介護施設などから、職員や患者、利用者のPCR検査をしてほしいとの声が上がった。院内感染やクラスターを防止するためにも検査対象にしていくべきではないかと発言しました。阿部英明薬務感染対策室長は「PCR検査については、例えば一般の開業医さんを通じて必要とされる検査ができないのか、より面的な検査が可能となるよう検討している」という趣旨の答弁をしました。

※ これまでPCR検査は、県衛生研究所が担ってきたが、検査機器を増設し、庄内、置賜保健所や一部の医療機関でも可能となりました。加えて隣県の民間検査機関も活用するとしています。また、検査費用も課題です。

現在の行政検査では、公費で自己負担がありません。独自に対象を広げると財源確保が必要となります。10年前に、PCR検査体制、保健所体制の強化などが指摘されていたにもかかわらず

ゆり子の 視点

安倍首相辞任の 反応

病気が理由の辞任じゃないの」など化を求めていることに、「しかたないの反応がみなさんとは実感できます。けれど、モリカケ疑から返ってきます。」「総選挙が近いの



感やさくらを見る 自民党支持の人かもしれないので、うやむやにしの反応にも「この頑張った」と激励も受けました。期待に込められる市民と野党の共闘のために力を尽くします。

少人数学級実現を 県要請に同席

9月2日、新型コロナから県民の命と暮らしをまもる山形共同アクションの外塚功代表が「コロナ禍から子供と教育を守るための要望書」を菅間裕晃教育長に手渡し、日本共産党県議団も同席しました。



菅間教育長に要望書を手渡し子どもの実態を伝える参加者

分行き届いた手立てが必要とされている」「学校再開したが勉強が進むのが早くて登校するのがつらそう」、ギガスクール構想やオンライン授業について「このまま、どんどん進められていくのか、学級と保護者の議論もなく、子どもや父母の不安が大きい」など。

9月定例県議会は18日開会予定 請願締め切りも同日
28日は私 渡辺ゆり子が一般質問にたつ予定です。

ダンスを取り、学びを保障するためにも、20人程度の少人数学級と教員増を国に求めていくことや県としても当面、小中学校の34、40人の多人数学級を解消すること、そのための実態把握をするよう求めました。菅間教育長は、「県単独では難しく、国に要望していきたい。解消に向けてどういう方法が可能か調査したい」と答